

子供への放送について

東京中央放送局教養部長 小尾 範 治

子供を對象とする放送は現在「子供の時間」に「學校放送」の二種類ある。前者に於ては大體幼児から小學校高學年までのものを對象とし、後者は幼稚園に小學校兒童を對象としてゐる。先づ子供の時間の放送についていふならば、相手は年齢に於て相當開きをもつてゐるから、多少年齢層を考慮して番組を編成してゐるが、一般にいへば十歳前後位のもの眼中に置き、それ以下のものにも大體分り、それ以上のものには充分理解されるやうに工夫してゐる。けれども時には特に幼児を眼中に置いて放送の内容や方法を考慮してゐる場合もあり、又時には多少年齢の多いものを對象とする場合もある。がしかし最も無難なものとしては比較的低い年齢層を眼中に置くといふことである。それは小さいものに面白いものは多少年齢の多いものにも決して興味がないことはないからである。けれども反對に年齢の多いものを眼中に置けば、自然に内容が複雑になり難解になつて、他のものに理解されないものになるからである。殊に「子供の時間」はためになると同時に面白いといふことを主眼としてゐる。それはいかにためになるものでも、興味がないならば子供の聴取慾を刺戟するこゝが出来ず、従つてスイッチは入れて聴き初めてもすぐラヂオから離れてしまふからである。そこで「子供の時間」には材料としては教訓的のもの、知識的のもの、藝術的のもの等各方面のものを採り入れるけれども、その取扱ひ方を工夫して成るべく子供の興味を惹くやうに工夫し、例へば對話や劇の形式を用ひるさか、音楽を入れるさかして同じ内容で

もその取扱方についても興味さいふこゝに相當重點を置いてゐる。これについて最も苦心を要するのはお話である。お話も童話的のものは話し方さへ相當優れてゐれば、内容そのものは大抵子供に取つて興味あるものが多いから、一般に子供の聴取慾を刺激することが出来るのであるが、科學や地理などに關するものについてはこれを子供に興味のあるものとするには充分なる工夫が必要である。即ち先づその材料の選定について子供の生活に即したものを、子供の經驗に訴へるこゝが出来たるものを考へなければならぬ。子供は一般に活きものや活動するものを好むから、動物に關するお話さか、乗り物に就てのお話さか、いふやうなものは材料としては子供の興味を惹き易いが、礦物であるさか、化學についてのもの、聞いたこゝもない遠い地方のこゝなごは興味を惹き難い。従つて先づ放送で取扱ふ材料について子供の生活を中心にして彼等に親しみがあつて、その興味を惹くやうなものを選定せねばならぬ。

しかし如何に材料が子供に取つて興味あるものであつても、お話の仕方が堅固しかつたり、難しかつたり、早すぎたり或は平々淡々たるものであつたり、又は力も熱もこもつてゐないものであつたりするならば子供には決して面白く聽かれない。即ち話し方が上手であり、うま味があり、潤ひがあり、或は力や熱があり、又速さも速すぎたり、ゆつくりしすぎたりするこゝなく丁度適當であるこゝなごが缺くこゝの出来ない要件である。けれども科學なごの問題についてお話をされる人は話し方の研究なごをしないのが常であるから、やゝもすればさういふ條件を缺き、折角のよい材料も面白く聽かれない場合が屢々ある。否、科學ばかりではないごの方面でも子供向きの話し方の上手な人は寧ろ少いやうである。そしてこのこゝはあらゆるお話について常に深く考慮すべき問題であつて、たゞ童話のやうなものでも話し方の巧拙によつてそれが子供に與へる感銘に非常な相違のあるこゝはいふまでもない。放送局に向つて子供の時間にもつて科學的な材料を取入れたらさうかさいふ意見を述べられる向もあり、そして吾々關係者も全く同感であつて、成るべく多くさういふ問

題を取扱ふこゝに努めてゐるが、これについての一つの難關は話し方の上手な科學者が少いこゝである。勿論科學的材料はお話ばかりでなく、對話や劇にも仕組めるし、單なるお話よりも一層興味のある取扱方も出來、又次にさういふ放送もしてゐるが、お話の方面でも例へば學校の理科の先生、それは専門でなくともそれに堪能な先生にお話の上手な人が澤山あれば、放送の上では非常に仕合せである。今後かういふ人々が續々現れて子供への放送を一層充實するこゝが出來るやうにしたいを念願してゐる。

二

「子供の時間」で一般に最も喜ばれてゐるのは音樂と劇であらう。音樂は近來我が國に於て非常な勢を以て普及し器樂も聲樂も相當多數の民衆がこれを鑑賞するこゝが出來、從て自分で樂器を扱つたり、歌つたりするこゝの出來るものも少くない。殊に小學校に於ける唱歌の教授が進歩したので子供の耳も次第に音樂に慣らされ、從て「子供の時間」に於ける音樂や唱歌の放送はかなり多く聽かれてゐるやうである。こゝでは子供が聽き慣れてゐる唱歌を上手に歌つたり、或は子供向きの童謠その他適當な聲樂や器樂を取扱つてゐる。殊に器樂は吹奏樂にせよ、管絃樂にせよ、曲が子供にも分るやうなやさしいものであれば、大抵の子供に喜ばれる可能性をもつてゐるので、これ等の放送は常に行つてゐる。また時には少し教育的にオーケストラなさを解説をつけて放送する場合もある。かやうに音樂はそれが子供向きのものでさへあれば彼等の興味を惹くこゝが多いので、他の種類の放送へも出來るだけ音樂を取り入れるこゝにしてゐる。それは音樂が子供の興味を惹くこゝが多いといふだけでなく、一般に音樂は放送内容を和らげ、これに潤ひを與へる上にも效果があるからである。

例へば地理のお話の中へ、その地方に因みのある唱歌や童謠なごが這入る堅い話でも餘程和げられるであらう。そしてこのこゝは幼児や小學校低學年兒童なごに對する放送には特に重要であると思ふ。それは彼等は年齢の關係上注意を持續

させることが困難であるから、適當な所に音楽を加へて注意や興味を新にしたり、或は初めにそれを置いて先づ彼等の注意を促すか、或は終りに音楽を加へて全體が面白かつたこゝいふ感じを與へるやうにするか、音楽や唱歌を加へるこゝの效果は少くないであらう。

音楽も同様に子供の喜ぶのは劇である。一時學校劇が色々な弊害があるといつて文部省から禁止されたのであるが、近年一般に藝術の普及發達に伴つてその教育的價值も一層重要視され、現に小學校なきでもこれについて研究を積んでゐる人もあり、又實際に子供に劇をやらせてゐる學校も少くないやうである。學校の子供に劇をやらせるこゝについては教育上留意すべきこゝがあるに相違ないが、材料が子供向きであり、又教育的であり、方法が普通の芝居なき違つて極めて簡素なものであるから、情操教育の上から見て差支ないこゝと思ふ。そこで放送に於ては兒童劇として學校の子供自身の劇を取扱ふ場合もある。勿論かやうな場合には先生の指導に依つてゐる。また童話劇や歴史劇或は理科劇なきもしばしば放送するが、これ等は時には黒人の俳優に依頼するこゝもあり、時にはそれ等の劇を専門に研究してゐる人々の手に依るこゝもあり、また理科劇なきはさういふこゝは特殊の技能をもつてゐる學校の先生に依頼するこゝもある。しかし何れにしても子供を對象とする放送劇は筋も成るべく單純でしかも明朗で興味と教訓とを合せもつやうなものを選択してゐる。殊に子供がお話で知つてゐる童話なきを劇化したものは非常に面白く聽かれるやうである。

三

次に子供に對する放送として非常によく聽かれてゐるのは「子供の新聞」である。これは毎日の社會の出來事或は自然界の現象なきの中で極めて重要なこゝ、或は非常に珍らしく面白こゝなきを選んで要領だけを短い時間に放送してゐるのであるが、材料には年上の子供でなければ分りにくいものもあるが、多くは大抵の子供がきいて理解し得る程度のもの

を分り易い文句で取扱つてゐる。例へばオリムピックの著しい競技とか、きこに大きな地震があつたとか、珍らしい動物が発見されたとかいふやうなことは誰にも分り、又誰でも興味をもつこゝが出来ゑる。しかもそれについて極めて重要な點、興味ある側面だけを取りあげてやさしい言葉で發表するやうにしてゐる。これは主として社會や自然についての子供知識や經驗をも擴充することを目的とするものであるが、大人が聽いても相當に興味があり、殊に世間のこゝに遠ざかり勝ちな御人などには常識涵養の一助ともなるので、放送時間が夕食前後であるといふ事情も手傳つて、「子供の新聞」は可成り多數の家庭で子供を中心に大人までも聽いてゐるやうである。尙これはかやうに子供に喜ばれながら子供の常識を養ふ上に効果が多いので小學校でこれを教育に利用してゐる所が少くない。従て「子供の新聞」は放送後印刷して週報とし希望する學校へ頒布してゐる。

四

最後に學校放送であるが、これは三つの部門に分れ、「幼児の時間」、「小學生の時間」、「教師の時間」になつてゐる。「幼時の時間」は主として幼稚園や托兒所にゐる幼児を対象とするものであるが、勿論家庭で幼児に聽かせるこゝも出来る。これは毎週一回、火曜の午前十時十分から十分間放送してゐる。その内容はやさしいお話、童話、唱歌音樂等であつて、幼兒の知的發達を助け、殊にその情操陶冶に資することを主眼としてゐる。幼兒は一般に落つきが乏しく、注意も散漫になり易く、殊に幼稚園などで大勢一緒にゐる場合にはさうなり勝ちであるから、團體的に放送を聽かせるこゝは困難のやうに思はれるが、しかし一般に子供は新しい刺激を求める心が強いので、一週一回の放送は相當興味を以て聽くやうであり又僅か十分間であるから少し訓練し、又保姆が指導するならば、靜肅に聽取させるこゝは決して困難でないやうである。しかし放送をよく分らせ、且その教育的効果を收めるためには保姆の指導が大切であつて、殊にお話や童話などについて

は豫め梗概が放送協會發行のリーフレット「學校放送」によつて分つてゐるので、事前にぎんなお話があるかといふことを子供に聞かせて置くこゝが必要である。それからそれに關係した繪、寫眞、模型、標本等があるならば、それを見せて置く方がよい。そして子供に豫めぎんなお話かといふこゝについて若干の豫備知識を與へて置けば子供の了解が非常によいと思ふ。尤も餘り詳しく話してしまへば子供の好奇心をそぐ恐れがあるから大體の筋だけでよからう。また唱歌や童謡なども多くは子供の知つてゐるやさしいものであるが、豫めさういふものがこれから歌はれるかを知らせて置く方が便宜であらう。子供は自分の知つてゐるものが放送されるさう一緒に歌ひ出すやうであるが、これを適當に指導して聽いたり歌つたりして樂しみながら歌ひ方の上達を圖るこゝが出来てあらう。聽取中は一般に靜かに聽くやうに訓練するこゝが肝要であるが、これは幾度か繰返す間に自然に習慣づけられるものと思ふ。尙聽取後にお話や童話については簡單な質問を發して子供に答へさせたり、或はそれを材料にして畫をかゝして見るのもよい。これも決して難しいこゝではなく。現に幼稚園でやらせてゐる所があり、子供も喜んでかくやうである。これは印象を深くする上にも効果があり、又子供の感覺機官や知能作用の練習の上にも價值あるこゝと思ふ。

次に「小學生の時間」であるが、これは尋常から高等まで各學年につき一週一回、十分乃至三十分間放送してゐる。但し尋常一、二年は何れもやさしい内容であつて別に分ける必要もあるまいといふので合併して週一回としてをり、又高等一二年は公民的並に職業的陶冶に重きを置き、自然共通の問題が多いのでこれも區分せずに週二回放送してゐる。その外に「朝禮の時間」をして隔週一回全兒童を對象として名士の訓話を放送してゐる。「小學生の時間」の科目としては修身公民、讀方、唱歌、國史、地理、理科、體操とし、學校の授業を繰返さず、學科を關聯を保ちつゝ兒童の知識や經驗を擴め、その情操を陶冶するこゝを主眼とし、また各科目をそれら單獨に取扱はず出来るだけ色々な科目から材料を取つて綜合的

にし、且成るべく音楽を加へたり、對話や劇の形式を用ひ、興味を以て聴取させることゝなつてゐる。即ち面白く且ためになることゝが學校放送の目標である。この點に於ては學校放送は「子供の時間」の放送と同様の立場にあるやうであるが、しかし前者は學校の教科と關聯してゐる所にその特質がある、これと異り、「子供の時間」は學科とは全く無關係にたゞ子供のためになり且興味があることに重點を置くものである。従つて兩者は形式に於て一致する場合が少くないが、内容に於ては相違する場合が多いことゝつてよい。「小學生の時間」については「幼兒の時間」以上に教師の指導が必要であつて、即ち事前に於て教科書の關係箇所を復習せしめることゝか、或は色々な教辨物等によつて豫備知識を與へることゝか、或は放送者の略歴等を話して置くことゝかして、出来るだけ内容に親しむをもたせるやうにし、又放送中は難しい言葉や固有者詞などを黑板に書いて示すことゝか、或は必要に應じ地圖その他を指し示すことゝか、又は要點を書き留めさせることゝか、内容に従つて適當なる指導を行ひ、又聴取後には兒童に大要を反復させることゝか、重要な點、興味のある點、或は分らなかつた點などを尋ねて見ることゝか、或は放送の材料を綴方、圖書等に應用することゝか、放送の効果を大ならしめるために事後適當な處置を行ふことゝが肝要である。聴きつばなしことゝは最も避くべきことである。

最後に「教師の時間」は教授上參考となる新しい資料教育學教授法、兒童心理學その他教育に關する新しい研究、或は教師としての知的並に精神的修養に資するもの等を主なる内容とし、毎週三回放送することゝしてゐる。教師としての職分を全うするために教師の積むべき修養は缺くべからざるものであり、又これがために講習會に出席することゝか、圖書雜誌を購讀することゝか、その方法は種々あるが、放送の利用は最も簡易なものであるから、これは多數の學校で利用されてゐるやうである。しかしそれよりも最も多く聴かれてゐるのは「朝禮の時間」である。それは兒童が懂れてゐる各方面の名士に依頼して體驗に基く活きた訓話を放送するものであつて、全國多數の學童が大きな期待を以て耳を傾け、深い感銘を受けて

るるやうである。ラヂオ體操も多くの小學校で利用され、これによつて兒童の健康上或は規律訓練上の少からぬ効果を收めてゐる。幼兒竝に學童を對象とする放送も利用する幼稚園や小學校が漸次増加し、殊に地方なごでは非常に喜んでゐるやうに報告されてゐる。

何れにせよ「學校放送」は放送協會と學校との協力に俟つものであるから、その効果を大ならしめるためには互に接觸を密にし、希望、意見等に交換して改善向上を圖ることが必要である。この理由に依り幼稚園や小學校からさし／＼御意見なり、御希望なりを吾々の方へ御傳へ願ひたい。尙「子供の時間」の放送についても同じことを御願したい。